

会議録

会議名	平成28年度第2回小金井市児童館運営審議会		
事務局(担当課)	児童青少年課		
開催日時	平成28年11月8日(火) 午前10時～午前11時40分		
開催場所	小金井市 貫井南児童館		
出席者	委員	橋本会長、関委員、新井委員、布目委員、松田委員、山中委員、岩重委員、山田委員、中川委員	
	その他	(欠席：吉田委員)	
	事務局	大澤児童青少年担当部長、伏見課長、田中係長、森主査、大嶋主査、山田主任、中村主事、東児童館(マネージャー木下職員)	
傍聴の可否	可	傍聴者数	2名
会議次第	<p>1 開会 貫井南児童館施設見学</p> <p>2 議題 (1) 児童館事業について ① 報告事項(東児童館委託の検証について) ② 今後の児童館事業のあり方について ③ 報告事項(本町児童館について) (2) その他</p> <p>3 閉会</p>		
会議内容	<p>(主な発言の要旨)</p> <p>○ 貫井南児童館施設見学 来館者カードの置き場所について、不特定多数の大人が利用する公民館との併設館であることから、他館と異なる配慮を検討した方がよいのではないか。(山中委員)</p> <p>○ (1) 児童館事業について (東児童館委託の検証について) 東児童館委託の検証(委託開始後2度目)の実施にあたり、仕様書に沿った受託者へのヒアリングを行ったが、その裏づけとして利用者アンケートを実施する。検証結果は、ヒアリングとアンケート結果を総合した報告を次回児童館運営審議会に提示し、ご意見をいただく予定。(伏見課長) アンケートは「小学生」、「中・高校生」、「大人」の3種類で行った方がよい。(中川委員・布目委員・橋本会長) 児童館に来ない子の意見を拾うために、東小・東中にもアンケートを実施できないか。(岩重委員・中川委員・関委員) アンケート項目の再校正、整理をした方がよい。また、語彙や言葉の選び方、選択のさせ方も再検討した方がよい。東小へのアンケートは事務局で検討を。(橋本会長・新井委員・松田委員・山中委員) → いただいた意見を踏まえて児童館運営検討委員会で再検討し、結果を橋本会長に報告する。なお、利用者以外も含めたアンケートを小学校で実施する</p>		

	<p>場合には、松田委員・山中委員経由で校長会にもご連絡する。(大澤部長)</p> <p>アンケート対象を拡げすぎると、利用者でない無責任な意見が増えて信憑性が落ちるのではないか。また、直営館と比較しない東児童館単独のアンケートを実施することに意味があるのか。(新井委員)</p> <p>→ 今回は、平成23年度の検証と異なり、委託の是非の検証ではなく、この4年間、東児童館で受託者が仕様に基づき問題なく事業を実施してきたかどうかの検証。併せて利用者の視点から満足度を検証することで、来年度以降の委託先再選定の際の仕様に生かすことが目的。(橋本会長・伏見課長)</p> <p>(本町児童館について)</p> <p>本町小学校の教室を一部借用しているほんちょう学童保育所の分所について、学童保育全員入所の維持の方針や学童保育の安定的な運営のために学校周辺の適地確保に向けた情報収集等を今年度行ってきたが適地がない。一方で平成30年度から本町小学校の特別支援教室が本格稼働し、学童は来年度1学期までしか本町小学校を借用できない。そのため市の方針として、29年9月から当面の間、ほんちょう学童保育所の分所の運営場所として、本町児童館2階の図書室と学習室を利用する方向で本町児童館の業務の見直しを行うこととし、児童館として児童館運営検討委員会での検討を開始した。なお、児童館運営検討委員会としての検討を経た次年度の本町児童館の事業計画案は、次回の児童館運営審議会までにお示しし、ご意見を頂戴する予定。(伏見課長)</p> <p>2階を自由来館の児童が使えないと、児童館1階はさらに人数が集中してくる。子どもの居場所の混雑に対処する方法はどうするのか。(中川委員)</p> <p>→ 本町小学校への校庭開放促進のお願いや図書館貫井北分室への案内等、今後、働きかけていく。(大澤部長)</p> <p>暫定利用は何時までを予定しているのか。(橋本会長)</p> <p>→ ほんちょうに限らず、どこの学童保育もかなり手狭で利用者が多いという現状は同じ。仮に、市が土地を借りる場合でも、設計をして工事をするのに2、3年という期間がかかってしまう。また、条件的に合うような物件があれば、という形になる。民間の土地活用、建物活用というところも視野に入れ条件が整うまでの間、というところ。市のさまざまな問題もある中で、最終的には総合的に判断をさせていただく。(大澤部長)</p>
<p>当日配付資料</p>	<p>① 次第</p> <p>② 小金井市東児童館利用者アンケート(平成28年度)案 (小学生用・中学生以上用)</p>
<p>事務局(伏見)</p>	<p>定刻になりましたので、ただいまから始めさせていただきます。本日は、お忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございます。まず、本日配付の資料等について事務局から確認させていただきます。</p>
<p>事務局(田中)</p>	<p>おはようございます。本日、机前にお配りしたものでございますが、本日の次第、小金井市東児童館利用者アンケート平成28年度(案)が2種類、でございます。以上でございます。</p>
<p>事務局(伏見)</p>	<p>ありがとうございます。資料の過不足は大丈夫でしょうか。それでは、次</p>

	第に従いまして、会長、よろしくお願いいたします。
橋本会長	<p>皆さん、おはようございます。寒くなってきましたが、お集まりいただきまして、ありがとうございました。</p> <p>きょうは貫井南児童館の見学を最初にさせていただきますが、議題だけ先に目を通していただきまして、この後、東児童館委託の検証について、というご報告、それからもう一つ、本町児童館について、というご報告もありまして、そのほかに今後の児童館事業のあり方について、例年のように審議していただくということにしております。</p> <p>資料として、追加で私のほうから、小金井市学童保育所業務委託評価報告書、これは報告書として大変よくできた形ですので、本日、参考になるかなと思って、私の一存で配付をしていただきました。ただ、本審議会は児童館が主でございますので、文脈の違いは注意を要するところですが、とてもよくできた報告書でしたので、参考にさせていただければと思います。それでは、見学に移りたいと思います。山田先生、よろしくお願いいたします。</p>
事務局（山田）	貫井南児童館の山田です。では、これから見学をしていただきます。お荷物はここに置いたままで結構です。
（貫井南児童館施設見学）	
橋本会長	いかがでしたでしょうか。皆さんのほうで見学されてご質問などありましたら、あるいは何か言いたいということがあったら。ご質問はありませんか。
山中委員	さっき個人のカードがありましたよね。あれは、いつもあそこに置いてあるものですか。生徒の学校名と名前があって、意外と個人情報が見られるものの置き場所としては危険かなと思ったりしたのですけれども。公民館利用者でも見られるという状況にあるのかどうなのか、ということですが。
事務局（山田）	児童館の子は、いつでも見られる状況になっておりますけれども、そういうことがあるようでしたら、検討してみたいと思います。
山中委員	ちょっと気になったもので。すみません。
橋本会長	何か補足とかはありますか。よろしいですか。はい、どうぞ。
事務局（森）	児童館では、入館カードという名称でどこの児童館も作っております。学校名を入れているかどうかは各児童館の判断に任せられており、私は緑児童館の職員ですが、緑児童館では個人の名前と学年、ただし学年はカードの色で識別するようになっています。これについては、その日に誰が来ているかという状況を把握するには、その方法が一番いいということと、その日の集計もしますので、何年生が何人来ていて、男の子なのか、女の子なのか、そこについては知るべきだということで行っております。現在、学校名を入れていることに関しては、今後検討はしたいと思いますが、今のところ、児童館としては、個人情報の漏えいには当たらないという判断をしてやっております。

橋本会長	<p>ご指摘とご回答、ありがとうございました。来館児童を管理できないことに伴うリスクを避けるという面もあるのかな、というふうに今のご説明を聞いて理解しました。いい議論をしていただいてありがとうございます。</p> <p>そのほか、何か気づかれたこと、ご意見などありましたらお願いします。布目さん。</p>
布目委員	<p>今の学校名のことについてなんですけれども、例えば民生委員の立場から言わせていただくと、数は少ないですけれども、例えば児童館に来られたお子さんの様子を、児童館の職員から学校側へとか、民生委員へ見守りの対象として、情報をいただく場合がありますので、お子さんのお名前と学校名、学年がわかるということは必要な部分もあるものです。名前だけで特定する、ということは難しいですから、この学校の何年生のお子さんのちょっと様子が心配であるとか、こういうことが児童館であったので学校側にも連絡したいとか、民生委員に情報をという場合も、稀に、ですけれどもあります。もちろん個人情報ですから取り扱いは慎重を期すべきだと思いますが、ケースによっては、ある程度必要なのかな、というふうに感じます。</p>
山中委員	<p>カードに学校名が書いてあることについては、私も異論ないのですが、公民館側の利用者から見られるのでは、というところです。</p>
橋本会長	<p>この施設は、特に公民館と一緒にしているというところがね。</p>
山中委員	<p>そうです。誰でも入って来られる、というところがあるので。</p>
布目委員	<p>そうですね。</p>
橋本会長	<p>わけのわからない人が入ってきてもわからない。</p>
山中委員	<p>そうです。そこがちょっと気になって。</p>
布目委員	<p>そうですね。大人が常態的に入れる施設ですからね。</p>
橋本会長	<p>ありがとうございました。ほかに何かありますでしょうか。よろしいですか。では、議題に入っていこうと思います。山田先生、見学の説明、どうもありがとうございました。</p> <p>では、次の議題について、資料の説明をお願いしてもいいでしょうか。伏見課長、お願いします。</p>
事務局（伏見）	<p>まず、報告事項1つ目、東児童館委託の検証についてということでご報告いたします。</p> <p>平成25年度から継続している現在の東児童館の委託ですが、5年間で一定見直しをする必要があることから、平成30年度からの契約について、平成29年度中にプロポーザル方式による受託先の再選定が予定されておるところでございます。それに先立ちまして、児童青少年課内で、児童館運営検討委員会において、現在の東児童館の委託事業の内容について、この4年間の検証作業を9月から開始したところでございます。先月の27日には、東児童館の受託者に対し現地でのヒアリングを実施し、来月の冒頭には、東児童館の利用者アンケートを実施する予定でございます。本日は、児童館運営検討委員会で作成中の東児童館利用者アンケート案を参考配付いたしました。</p>

	<p>た。小学生用と中学生以上用の2種類でございます。お目通しいただきまして、ご意見、ご質問等をいただければと存じております。</p> <p>なお、ヒアリングアンケート結果をあわせた児童館運営検討委員会の評価報告案については、次回の児童館運営審議会までにお示ししたいと考えてございます。その際には、皆様のご意見を頂戴した上で内容について確定し、次年度に実施される東児童館の委託先の再選定の仕様に反映したいと考えておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>本件に関する報告は以上でございます。</p>
橋本会長	<p>ありがとうございました。東児童館の事業者の再選定ということですが、平成19年度からいいますと再々選定というふうになります。前はここまでの丁寧な審議を、この場ではしてこなかったもので、審議会としては初めての形で審議をしていただきます。2月から3月にかけて開かれる第3回児童館審議会で、報告書と利用者アンケートの結果等を検討する機会がありますが、今、伏見課長からご説明がありましたように、それまでの作業に反映させていただけるように、これらについてのご意見を皆さんから今日はいただきたいと思ひます。</p> <p>ちょっと目を通すお時間がなかったかもしれませんが、皆様からの質疑応答をいただきながら、順繰り、順繰りに質問しては、一通り目を通してはというふうにしたいと思ひます。いかがでしょうか。</p>
中川委員	<p>すみません。まず、このアンケートというのは、利用されている小学校に配るのですか。</p>
橋本会長	<p>配付方法ですね。</p>
中川委員	<p>そうです。配付方法です。</p>
橋本会長	<p>今の中川さんのご質問はいかがでしょうか。</p>
事務局（田中）	<p>配付方法は児童館に設置することを予定しております。対象はそれぞれ小学生と中学生以上です。</p>
中川委員	<p>児童館の利用者のみですね。</p>
事務局（田中）	<p>はい。利用者アンケートですので。</p>
橋本会長	<p>配付方法の件については、いかがでしょうか。山田さん。</p>
山田委員	<p>東小学校も配ったほうがいいですか。以前、来ていたけれど、今は来なくなった理由とかも、この、してほしいこと、の項目に入るのじゃないかと思ひます。</p>
橋本会長	<p>皆様、いかがでしょう。岩重さん。</p>
岩重委員	<p>配付数や回収をどれぐらい予定しているのかも、とても結果に反映されるのかな、と思うのですけれども、大人は子どもが大きくなるとなかなか行かなくなったりするので、できれば学校や何かで配っていただけるとアンケートに回答しやすいのかなと思ひます。</p>
橋本会長	<p>ほかのご意見はいかがでしょうか。同じご意見でも結構です。関さん、どうぞ。</p>
関委員	<p>関です。そもそも、こういったアンケートを学校で配れるものなのか、と</p>

	<p>いうのを知りたいです。</p>
橋本会長	<p>質問も大体まとまってきましたので、このアンケートを来館した児童がとっていただくだけではなくて学校で配付したほうが、来なくなった子どもも含めて知ることができるのではないかというご意見でした。関さんからは、こうしたアンケートを学校で配れるのかどうなのかという点についても確かめることが必要だ、ということだったので、学校の先生方で何かご意見はあります。</p>
山中委員	<p>とれないことはないと思いますが。</p>
橋本会長	<p>配れないことはない……。</p>
山中委員	<p>配れないことはない。ただし、アンケートをとった以上は、子どもたちに結果を返さないといけないと思います。どういう形で返すのかとか。あと、例えば1年生から6年生まであります。全クラスなのか、その中の1学年の1クラスだけでもいいのかとか、全クラスって負担になる可能性もあるので、抽出として適正なのか、そういうところでも考える必要があるかもしれません。</p>
橋本会長	<p>松田先生、いかがでしょうか。</p>
松田委員	<p>アンケートの件に関して、いつもいろんな意見が言われるのは、個人情報とか、プライバシーの保護というところでしょうけれども、これは利用についての子どもの率直な感想を求めるもので、そこには該当しないというふうに、まず思いますので、内容自体には精査をかけていただいて、アンケートとしては大丈夫だと思いますし、それから今、山中先生も言われましたように、1年から6年までありますから、それがちゃんと対応できるものになっているか。特に低学年は自分で読めないし、学校で配付するということ、家に持って帰ってやってくるのか、学校でやるのかということでも、またちょっと、その時間の問題も出てきますから、学校の中でやるとなると、ちょっと難しいかもしれませんね。</p> <p>また、さきほども出ましたが、アンケートをとったら、きちっとそれを成果として、結果として、子どもたちなり保護者に対して、こういう方向で改善がされますみたいな形で、具体的なものが示されるということは必要ですし、それはすごく大事なかなというふうに思っています。すみません。</p>
橋本会長	<p>ありがとうございました。</p>
新井委員	<p>新井です。あまりたくさん配っちゃうと、自分のものとして答えない子がいるんじゃないかと思います。信憑性が下がるんじゃないのかなという気がするんですね。当事者じゃない子が、いたずらで変な答えを書いたりするようなことで信憑性が非常に下がってくる、その可能性があるんで、今、利用していないたくさんの子に配るとするのは、そういう意味で、データの信頼性を損なうのじゃないか、と思います。</p>
橋本会長	<p>なるほど。いろいろな意見が出ていて、それぞれなるほどな、と思うところですが、何か方法について案があれば。結局は、事務局にお任せするということになると思うのですけれども、案があれば、それを事務局にお伝えしておこうと思います。いかがでしょうか。</p>

	<p>私たちの議論を助けていただくのに、事務局のほうで何か、今の皆さんの意見へのコメントのようなものはありますか。結論じゃなくて結構です。結論としては、皆さんにお預けするのが妥当だと思っていますけれども。例えばどれぐらいの量を回収する見込みかということは、岩重さんからお尋ねがあったところですが。</p>
事務局（田中）	<p>前回の回収数量は全館で行ってございましたけれども、250もっていないかと思います。</p> <p>前回は委託自体の可否ということもアンケートの内容に含まれておりましたので、内容としては、市内4館で同じものを実施し、その差を見たのですが、その状態で回答していただけた方は250もいなかったと思います。ですから、どのぐらいの回収率になるかというのは、ちょっと事務局としても把握しきれない部分があります。</p>
橋本会長	<p>いかがでしょうか。審議会としては、ちょっとまとまった意見になりそうにないのかなと思うのですが、今、出たような意見を勘案して、事務局のほうでご判断いただくということで皆さんよろしいでしょうか。よろしいですか。では、配付方法につきましては、そういうような意見が出まして、なるほどと思う意見ばかりですので、すみませんが、そのように事務局のほうでまた勘案してください。</p> <p>配付方法以外のことで何か。</p> <p>橋本から1つ質問ですけれど、児童館の利用者の中には乳幼児もいるわけですが、乳幼児はアンケートが答えることができないので、例えば保護者の方が回答するのでしょうか。</p>
事務局（田中）	<p>利用者アンケートの中学生以上用が、大人の方も対象になっております。</p>
橋本会長	<p>中学生以上用ですね。失礼しました。見逃していました。これは、高校生も大人も回答できるわけですね。わかりました。</p>
関委員	<p>関です。中学生にとってこのアンケートは難しいんじゃないかと思うんですよね。聞き取ってアンケートをしていったらやってくれると思うんですけども、果たして中学生がこれを見てアンケートを全部答えてくれるかどうかというのは、ハテナがつきます。</p> <p>あと、アンケートはある程度、数がそろわないと結果は反映がないと思うので意味があるのかな、とは思いますが。先ほど全館で250いかないと言われましたよね。ということは、1つの児童館では60ですよ。それをアンケートと言えるのか。もう少し気合を入れてアンケートをとっていかないと、ちゃんとしたものが集まってこないんじゃないかなと思います。</p>
事務局（森）	<p>会長、補足をさせていただいてよろしいでしょうか。</p>
橋本会長	<p>はい、どうぞ、森先生。どうぞ、補足をお願いします。</p>
事務局（森）	<p>田中のほうからも説明があったのですが、前回は小金井市で初めての児童館の委託を行った結果ということで、全館で、委託自体を含めた評価を行うためにアンケートを行いました。そのときに行ったのは、保護者のみを対象としたものです。子どもには配っていないです。ですから60というのは、保護者から回収した数です。</p>

	<p>今回、アンケートを行うことについて、同じように保護者からだけの形でやればいいのか、という意見もあったのですが、小金井市では、子どもの権利に関する条例があります。こういった子どもの施設について、子どもの意見を直接聞くべきではないかという意見があり、今回は、小学生や中学生以上の子どもたちからも意見をとり、ということになりました。ですから、基本的に配付する枚数は前回よりも増えるということで、こちらは考えております。</p> <p>ただ、前回も遊びにきている子どもたちに直接手渡して、「お母さんやお父さんに書いてもらってください」という形でやりましたが、回収率はそんなに高くありませんでした。今回も、仮に来館したお子さんの協力の元で全ての保護者に配付できたとしても、どのくらい返ってくるか、という予想は非常につきづらいです。今回は、基本的に事業の趣旨を優先して、大人と子ども両方に実施としております。</p>
橋本会長	<p>ありがとうございます。いかがでしょうか。アンケートのことだけに限らなくても結構ですので、先ほど伏見課長からご説明があった手続きについても結構です。これは質問ですけど、アンケート以外のヒアリング調査結果については、今日は何かご報告があるのでしょうか。特にありませんか。</p>
事務局（伏見）	<p>現時点ではございません。次回の審議会で先月ヒアリングを行った内容と、今回のアンケートの実施結果、合わせました「検証結果の報告」という形でお示ししたいと考えてございます。</p>
橋本会長	<p>わかりました。</p>
新井委員	<p>新井です。特に中学生以上の設問ですけども、例えば問2とか問3、問4は、すごい選択肢が多いですね。項目がものすごくありますね。</p>
橋本会長	<p>4ですね。</p>
新井委員	<p>質問4ね。19個もずらっと並んでいる。この中から選べというのは、ちょっときついです。もう少しグルーピングできないですか。例えば開設時間についてとか、対象の高校生、乳幼児、少しずつグルーピングして質問していったほうが答えやすくなると思うんです。開設時間だとか、施設のきれいさだとか、清潔さだとか、そういうようなところとかというふうに分けたほうがいいんじゃないかと思うんですけど、いかがでしょうか。</p>
橋本会長	<p>利用者目線で、よりお子さんと近い方。子どもさんのアンケートのほうは12個程度で、しかも、量が詰まった印象はないですね。大人用のほうは19個ですか。大人用だから、大人に聞けばいいですね。大人の皆さん、いかがでしょうか。大きくりに分けたほうが答えやすいか、細かく割ってあるほうが答えやすいかという点ですが。岩重さん、お願いします。</p>
岩重委員	<p>新井さんのおっしゃるように、きちんとくくりで分けたり、幼児グループなら幼児グループの方対象な項目とかがあった方が集計もとりやすいんじゃないかなと思うんですけども、ざっと並んでいると、当てはまらないところも結構あったりするんで、小学生グループとか、小学生、中学生の親が見たときに、幼児グループとか、そういうところは絶対にチェックはつかないと思うので、その辺もきちんと分けていただけると答えやすいかなと思います。</p>

橋本会長	項目の数は、このままで分類するということですか。それとも項目をもっと統合したらいいというご意見ですか。
岩重委員	項目も統合して、そうすると自然とその答える場所も変わってくると思うんですね、幼児グループとか中学生の親だったり、ボランティアであったりという。全てまとまり過ぎているというか、全部が一緒くたになって、それを答えてくださいとなっていると、答えにくいような気がします。
新井委員	結局、質問するほうが、この質問から何の答えを出したいのか、何を求めたいのかというのが整理されていれば、分類できるんじゃないでしょうか。例えば設備の新しさとか清潔さ、そういうものをどういうふう子どもたちとか親が評価しているのかということを設定する。その先生と子どもたち、あるいは子どもたち同士の輪というものがどういうふうになっているのかというのを求めたいといったら、そういうグループになる。結局、このアンケートから何を引き出したいのかというのが整理されていれば、設問が整理されるのではないと思うんですけど、その辺が、このアンケートから何を求めたいのかがちょっと見えないんですね。そこをされたらよろしいかなと思うんですけども、いかがでしょうか。
橋本会長	質問の形でもありますので、このアンケートの趣旨にというか、作った発想についてご説明いただければ議論が続きやすいかなと思うのですが、いかがでしょうか。
事務局（田中）	<p>先行したヒアリングで、現状や、それに対応する仕様の確認について、東児童館の委託事業者から既にお話を伺っています。その同じ確認項目について、内容を利用者がどう考えているかを伺う、という主旨でアンケートを作成いたしました。</p> <p>さきほど項目ごとに分けるというご意見を頂戴いたしましたが、そういった形で当初は試案を作っていたのですが、現在と同じ質問内容、訊ね方でそれをしたところ、枚数がいまの案のほぼ倍、8ページくらいになってしまいました。その状態では、おそらく最後までアンケートに答えていただけないだろう、ということをお考えまして、こういった選択肢の多い形にはなりませんでしたけれども、4ページにまとめたということでございます。</p> <p>アンケートの表題の各項目は、「児童館の利用について」、「施設の事業内容について」、「職員について」、「その他」という4項目になってございますけれども、これはそれぞれヒアリング時に確認した項目に対応しておりますので、そうご理解いただければと思います。</p>
橋本会長	はい、中川さん。
中川委員	中川です。このアンケートを大人と中・高校生は別にすることはできないですか。別にもう一つ、中・高校生用という形で。
橋本会長	それは設問も変えてということですか。
中川委員	そうですね。やっぱり内容が、大人のほうのものが多いいのかなと。中・高校生って字がいっぱい入っていると面倒くさくなってチェックしないのは確実なので、やっぱりもうちょっとわかりやすく作っていただいたほうが、確実に答えが返ってくると思うんですけども。

橋本会長	<p>校長先生方も笑っていらっしやったように、そうかもしれません。私も、そんな気がします。</p> <p>他方で、橋本の意見としては、細かく割っているほうが該当する、該当しないが答えやすいのかなという気もいたしますので、アンケート自体の長さを考えると、痛しかゆしというところ、と思います。</p> <p>皆さん、いかがでしょう。要するに、回収率をもっと上げるということと、それから、先ほど関委員も言われましたように、少ない回答数で意味があるのかということがあるので、意味のあるアンケートにするためにはどうしたらいいかという観点からご意見ください。</p> <p>やっぱり橋本の意見としても、20個項目があったら、最初の辺りはまだ回答できても、だんだん読むのが嫌になって、下のほうは、まあ、いいかという形になるかもしれませんね。つまり、上に出している問題ほどたくさん〇が付きやすいかなという気がいたします。</p>
新井委員	<p>よくネットでいろいろなところからアンケートが飛んでくると、途中で見るのも面倒くさくなる。そこで、該当なしをチェック、よくやるんですよ。結局、その1つ1つを見ていくうちに、中学生はあまりよく見ないという話もありましたが、それと同じで、私も最後のほうに、該当なしってチェックして出しちゃう。だから、もうちょっと、子どもが回答するとしたら、途中で嫌にならない、放り投げたくないようなアンケートにしたほうがいいかなと思います。自分自身の経験も含めて。</p>
布目委員	いいですか。
橋本会長	布目さん。
布目委員	<p>布目ですけど、例えば質問4を、中・高校生世代と大人の方に聞くとして、小学生グループとか幼児グループというのは、おそらく中高生は全く範疇外なので、こういう質問をされても、幼児世代対象事業とか、こういうところは別に飛ばすだけかもしれないけれども、それよりももうちょっと、例えば中高生向けの事業に対してどう感じているとか、そういうふうにもし聞くのであれば、その辺を具体的にして聞かれたほうが、「中・高校生世代のための夜間開館」というものありますけれども、例えばその使いやすさとかはどうですかみたいなコメントとか、そういうふうにして。さっき中高生と大人を分けたほうがいいんじゃないかとおっしゃっていましたが、大人も保護者とボランティアで分けるとか。やっぱり保護者目線とボランティア目線って、若干違うのかなという気が。ボランティアの方が活動していらっしやる上において、もしかしたら保護者にこういう注文というか、ご意見があるかもしれないので、そういうことを書いていただくとか、逆に利用者の保護者の方がボランティアさんにこういうことを期待しているとかというようなことを記述できるようにするといいのかなと思ったりします。</p>
橋本会長	<p>橋本もちょっと意見を言わせていただきますと、それが別々につくれない場合でも、1ページ目の質問1の属性のところをもう少し分けることで対応できるのかなと。例えば、今、布目さんがおっしゃった、保護者・ボランティアとくくられていますけれど、どちらの立場のほうが強いかということ</p>

	○をしてもらえると思うので、これは分けてくださればいいのかと思います。あとは、いかがでしょうか。関さん。
関委員	児童館で配付されると思うのですが、利用していてよくないということはあまり書けないんじゃないかなとか思うんですけどね。
橋本会長	回収は、どこで回収するんですしたっけ。
事務局（田中）	回収用封筒を用意しておりまして、それに入れて、封緘したものをボックス等で投函していただく形になります。
関委員	それを配付する人が児童館の人なのか、部外者の人なのかで、この書き方が変わってくるような気もするんです。
橋本会長	配付する人が。
関委員	はい。児童館の人に返すのに、あまり印象の悪いことは書けないですし、それが第三者の何も関係のない人から配られるのであれば、正直な意見が渡せませんけども。
橋本会長	悪いことが書けないみたいです。ただ、自宅等で書くんでしょうから。
関委員	そうですか。そしたら、大丈夫ですけど、イメージとして、設置されているので書いて、みたいなイメージを持っていたので。
橋本会長	多分、家に持って帰って書いていいわけですよ。
中川委員	配付をしまして、それで回収するのは期限をどれぐらいとかっていうのはあるんですか。
事務局（田中）	現状、予定としては、アンケート期間2週間で、その後、月末までに回収する、という形です。
橋本会長	それは何か、中川さん、どういうことですか。
中川委員	あまり、だらだら期間を持つのもどうなのかなと思ったので。1週間、早めのほうが、期限がすぐだからというので、意外と、持って帰ると、持っていくのを忘れてたりとかもあるので。
橋本会長	あるんですか。
中川委員	あります。
橋本会長	あ、そうですか。なるほど。
中川委員	持っていこうと思ったんですけど、また忘れてしまったわということが多々あるので、余りにも長いと、逆にまだ余裕だわと思ってしまうので。
橋本会長	1週間で回答期限ですか。
山中委員	無理ですね。
橋本会長	無理というご意見もあれば、皆さん、賛成意見もあれば言ってください。
新井委員	新井です。1週間で配って、例えば1週間、今週いっぱい配って、11月末までに回答ください、そういう意味でしょう。だから、今日書いて今日回答したっていいわけですよ。それだけじゃないですか。
中川委員	そのほうが回収率は上がる気がします。子どものお母さんたちが来たときに、ばーって配って、ばーって書いて、その場で回収。
橋本会長	その場で書いて、その場で回収。
中川委員	その場で回収ぐらいの簡単なアンケートのほうが回収率は上がると思いま

	<p>す。変な話、忙しいお母さんたちは、1枚とかのほうが、ばーって書けるから。</p>
山中委員	<p>私も、なるべくその場で回収のほうが本当はいいと思うんですけども、もらったときに、中・高生が、え、こんなにいっぱいあるのと思っちゃうわけですよ。ですから、例えば中高生世代は答えなくていい設問があるじゃないですか。答える場所だけ明示したほうがいいと思うんです。共通問題はこれですと。じゃ、そこだけ答えればいいのねというところで、まず印象を与える。</p> <p>あとは、例えば問4と問5は、結局、よいか悪いかだけを聞くわけですよ。ね。だったら、全部1つの質問にして、○か×をつければいいだけの話かもしれない。そうしたら設問数は減るかもしれない。</p>
布目委員	<p>よいと思うものに○、悪いと思うものに×を書いて。</p>
山中委員	<p>そうです。それだけで済むかなと。上からずっと読んでいけば、○か×をつけていっただけで終わりという。</p>
布目委員	<p>中高校生はそういうやり方がいいかもしれないですね。</p>
橋本会長	<p>いかがでしょうか。これもなかなか1つにまとまりがたいので、記録をもとにまた事務局のほうで勘案していただくことになる可能性が大きいわけですが、それでもいいので、もう少しご意見をいただきたいと思います。</p> <p>私のほうも質問というか、意見になりますかね。アンケートからちょっと離れるんですけども、今回、東児童館の事業者の方にも調査をして、ヒアリングをして、検討委員会というものがありますので、その検討委員会の中で報告書をつくってくださるということですが、第三者性を我々としては確保しないといけないという立場ですが、それが私たちなのかもしれない。2月か3月の会議で見せていただいて、行政のほうの責任、事業者の責任、それぞれ果たされているか、出てきたデータや報告書は公正であるかということをお我々が判定しないといけない。判定とまではいかななくても、意見を言わなくてはならない。結構、難しい作業なんですね。</p> <p>ちょっとお願いしておきたいなと思うことは、多分、次回に事務局が出されると思うんですけども、評価の目的や評価のよりどころですね、こういう評価をする基準みたいなものを明示していただきたいというふうに思います。学童保育所の業務委託報告書のほうはネットに上がっておりますが、それを見てみると、その辺は明確にされています。特に評価の基準及び方法などは、学童保育運営業務委託仕様書に沿っているか、沿っていないか、といったことも基準の1つになるということですし、利用者アンケートも1つの基準にするというふうに書かれていますので、おそらく児童館でも同じようにするのだらうと思いますが、そのことは大事なかと審議会の場でも申し上げておこうと思っております。</p> <p>あとは、いかがでしょうか。学童保育のほうは、結構、保護者もネットに上がった報告書を見て、いろいろ要望だの、意見だの、突き上げてくるわけですが、受けるのはとても大変だと思うんですけども、児童館のほうは、そういうグループは、おそらくないと思うので、まとまった意見を言</p>

	<p>える場が少ない。だから、こうやってアンケートを行うわけですけど。そのかわり、我々がしないといけないということです。</p> <p>皆さん、何かほかにご意見はありますか。松田先生、お願いします。</p>
松田委員	<p>結局、学校でのアンケートの実施というのは、具体的にどんな感じになるのでしょうか。</p>
橋本会長	<p>もう少し我々の意見を言ったほうがいいですかね。</p>
松田委員	<p>そうなったときに、特に小学校、中学校もそうでしょうけれど、どのレベルを対象にするのかという、全校ではないですよ。小学校9校、中学校5校ありますけど、そこに全部配付ではないですよ。</p>
橋本会長	<p>必要はないかもしれませんね。今回、東児童館ですから。</p>
松田委員	<p>その対象と、また、学校アンケートの件と、もう一つ、中学生と大人向けに書かれているのは、どう利用していますかというのがありますが、小学生のほうには利用頻度が書いてあるのですが、大人も利用頻度があったほうが私はいいかなと思います。この頻度によって、またどういう傾向があるかということも見えてくれば、よりアンケートとして成果が上がるのかなというふうに思いました。以上です。</p>
橋本会長	<p>ありがとうございます。松田先生の前者のご意見というか、ご質問というか、これは委員の皆さんが質問されているようですが、いかがでしょうか。まず、学校に配付するのがいいのかどうなのか、もう少しご意見がほしいですね。先ほど新井さんからもご意見はありましたが、どうでしょうか。</p>
関委員	<p>アンケートをとるときに、必要枚数がこれ以上じゃないとだめだからというふうによく頼まれます。アンケートをとるときに、主催者側は必死にとるわけですよ。枚数がこれ以上じゃないと有効にならないからということ。だから、その有効枚数というのをまず決めておいて、それをどういうふうにとるかというのを考えたほうがいいんじゃないですかね。ですから、児童館だけでとったら不足なので、学校の1クラス分とらせてくださいとか、余りにも数が少ないと、アンケートとして、せっかく苦労されているのに、どうなんだろうという。</p>
橋本会長	<p>有効枚数って決められるんですかね、我々の今回の場合。</p>
新井委員	<p>今回は、結局、東児童館の利用者に対してのアンケート、ですから、私の考えは、東児童館を利用している全人数が母数になるんだと思うんですね。それと関係ない人までとる必要はないんじゃないかと思うんです。一般の世論調査だと全員が対象だから、結構な母数をとらないといけない。東児童館という、ある意味、クローズドした集団だから、その何%というのは意味があると思いますよ。利用者が何百人、延べじゃなくてね。何百人いるうちの何%からアンケートをとったというんだったら、意味はあると思うんです。</p>
橋本会長	<p>そうしますと、先ほどどなたかの委員がおっしゃった、来なくなっちゃった子がいる、それがちょっと私も引っかかっているんですけどね。大体、新井委員が言われたのは、そうかなと思いますが、来なくなっちゃった子をどうやって拾おうか、何かいい方法はありませんか。</p>

山田委員	最後に、楽しい行事を増やしてほしいという〇は、多分そういう子たちが〇をしたりとか、家から遠いからとか、そういうのはあるんじゃないかな、と思います。
橋本会長	今のは、私への質問の答えですか。
山田委員	はい。質問8と6とかに、小学生用のアンケートで、質問6の選択肢11番「家から遠い」から行かなくなっちゃったとか、質問8の「楽しい行事をふやしてほしい」とか。
橋本会長	そういう意見がとれなくなる可能性がありますね。
山田委員	それもあかなって。
橋本会長	私もそう思うので、何かいい配付方法はないか。なるべく私も学校への余計な負担というものは避けるべきだと思いますし、興味や関心がない人が書く無責任な、信憑性が薄い回答も集めたくないな、と思うんですが、何かいい方法は思いつきませんか。
新井委員	全然違うんですけども、例えば今のアンケートで「家から遠い」ということに〇したらば、どう解決するつもりなんですか。ないですよ、それね。
橋本会長	車で巡回とか、何かあるかもしれませんね。
新井委員	児童青少年課としては何か考えていらっしゃるんだったら、この設問は意味あるんだけど。
橋本会長	おそらくそういう、意味があるのかどうなのかということで、1回、私たちも精査したいという気がいたします。それをどうしようかな、とっているんですが、一問一答していると、多分、時間がなくなってしまおうと思うし、どうしたらいいかな。アンケートの集め方に話を戻していいですか。集め方と配付方法、東中、東小に全児童配付しなくても済む方法があれば。岩重さん。
岩重委員	<p>学童のアンケートの場合は、なぜアンケートをするかということから入っていくんですね。9学童のうち業務委託をされていて、こんな感じであると。それは、次、どこが業務委託されるかというようなことで、全体に連絡がきて、だからとても大事なアンケートなので、皆さんのお子さんにかかわることです、必ず回答してくださいというようなことが何度もアナウンスされるので、回答率もすごく高いと思うんです。この中でも、答えとしても、そう思う、思わないとか、すごく事細かに回答して、どちらとも言えない、あまり思わないとか、そのような項目も多いんですけども、それによって現状からどういうふうに変わっていくかというのを想像しやすいというか、答えることにとても意味があるという感じがあるので、すごく皆さん、回答をして、必ず出さなきゃと思うんです。</p> <p>児童館に、利用者アンケートですという形で置いても、なかなか回収率は上がらないんじゃないかと思うので、それこそ委託事業の再選定があるというようなことをアナウンスするようなことはできないんでしょうか。そういう目的で行っているアンケートですよというようなことがあれば、もう少し回収率が上がるのかなと思うんです。子どもに対しては、そこがなくてもいいんですけども、大人に対しては、それを踏まえてのアンケートだという</p>

	ことがどこかにアナウンスされていれば、少しは違うのかなと思います。
橋本会長	なるほど。具体的には、どうやってアナウンスするというのは、何か思い浮かぶ場面がありますか。
岩重委員	ここに一文、書くだけでも違うと思いますが。
橋本会長	そうですね。それは回収率を上げるという話ですね。回答率を上げるというか、ポイ捨てされないというのが先にありますね。なるほど。私も一部同感です。話が広がって申しわけないですが、今の趣旨なんかを生徒会の皆さん、児童会の皆さんにお願いをして、いいものかどうなのかと、今、ちょっと思ったんですが、これはお願いすると、また担当の先生が付き添って説明してくれないといけないし、もっと面倒くさいですかね。児童会の皆さんが、また、全校生徒にアナウンスするなんて、これも面倒くさそうですね。取り下げます。
新井委員	松田先生、例えば前原小学校の1つのクラスで児童館に行っているという子どもは、どのくらいいると思われませんか？
松田委員	ごめんなさい、全然、私、把握していないので。 ただ、今の委員長の話を聞いていたら、それは大変だけど、自分たちの町をよくしようとか、郷土意識とか、郷土愛とか、そこに主体的にかかわっていく中で、こういうアンケートがそういうものにつながっていくという意識とか、具体のものとして、ある程度、行政がかかわっていくということ、つながりを見せるにはすごくいい教材だなというのは、単純に思いました。けれど、やるほうは大変だなと。社会科とか、そういうところでは、まさに生きた教材になります。特に東小とか東中の子どもたちにとっては、切実な問題だろうなと。そういうことで大きく変わったら、やれるということにもつながっていくので。すみません、余計な、東小、東中のことに関して…
橋本会長	実は、私もそれはとても思うところです。本当はそうやって子どものときからまちづくり、地域づくり、自分たちの遊び場を自分たちで確保するみたいな、そのくらいの気概は、中学生の皆さんから、お願いすれば、義に感じて応えてくれる気がするんですけどね。
新井委員	社会科の勉強としては、東児童館というのは、僕たちの児童館をどうつくりたいとか、そういう設問だったら展開できるかもしれないですね。
橋本会長	いいと思います。
新井委員	配付とはちょっと違っちゃうんですけども、アンケートの結果をもって委託の判断の1つの、これが全てじゃないとは当然思うんですけども、判断するといったときに、学童のほうを見ていただいて、各学童の全部アンケートが並んでいて、その中で直営学童との差、位置づけが出ているんですね。だからこそ、ここはもう少し頑張らなくちゃいけないね、ここはすごい頑張っているよというのが見えるんですけども、例えば今回の東児童館の評価は単独ですよ。その単独になっちゃったものが、それがいいとか、悪いとかって、私はこれを見ていて言えないなって、自分で。出てきた結果をこの審議会で審議しろといったって、それがいいとか、悪いとか言えるわけがないな

	<p>と書いていたんですよ。だから、そのところが、どうもよくわからない。このアンケートをとった結果、委託先として適当なのか、適当じゃないのかという判断するというのは、ちょっとわからないですね。あるレベルがあって、それに対しての上だ、下だというんだったらいいんですが、あるべきレベルがわからない。判断できないなど。</p>
橋本会長	<p>きょうの議題をご用意するときに、事務局に打ち合わせをしてもらったんですが、今回は、よその館との比較はしないという調査、評価だそうです。</p>
新井委員	<p>絶対評価ですか。</p>
橋本会長	<p>はい。東児童館、あるいは地域の特性というものもあり、それから地域ごとに児童館に求めるものもある、ということで、そもそも他の館との比較になじむのかなじまないのか、比較しないでいいだろうという判断で議題は設定したんです。もし、皆さんのほうで比較したほうがいいんじゃないかというご意見があれば、それは審議会の意見として大いに検討することなんです。</p>
新井委員	<p>比較しないのであれば、評価しないということになるんじゃないか。</p>
橋本会長	<p>さっきの評価の基準の問題がありましたが、委託の仕様書どおりにきちんとやってくれたか、やってくれていないか、が基準だと思います。</p>
新井委員	<p>仕様書に対して、満足度がどうだったという、そこはわかるんですけど、こっちのアンケートというのは、その満足度は仕様書に対してどうか、というはあるんでしょうか。</p>
橋本会長	<p>このアンケートは仕様書に対して、というのはなくて、直の、子どもたちの反応であり、利用者の反応でありまして、既に行われたヒアリングの項目に近いものを並べて、裏づけを行うというアンケートで、ある程度、その力はあるはずだというふうには思います。</p> <p>そもそも子どもたちがよその児童館を利用していないから、あまり比較ができないだろうと思われまして、その意味からも、比較はしないでもいいかな、と。東児童館の運営の目的、それから利用者の満足度などで評価はできるのではないかなという気はしています。</p> <p>事務局のほうで何か補足がありましたら、今の比較する、しないの点について。特になければ、今のような話でいいんですよ。どうでしょう。皆さん、ご自由に意見を言っていただければと思うんですが。</p>
岩重委員	<p>岩重です。この方法でアンケートをとっても、利用している人からすると、満足度が高いと思うんですね。満足度が高いから利用しているわけであって、利用しなくなった人の意見というのを吸い上げられないと思うので、先ほどの意見に戻っちゃうんですけど、学校で、東中、東小の、各学年1クラスでもいいので、その意見を吸い上げられると、なぜ利用しなくなったかという満足できなかった理由というのがやっと上がってくると思うので、このアンケートだけだと、委託事業の再選定とかではなくて、今のままで、ここをちょっと直してほしいなみたいな形でしか、何も変わらないと思うので、アンケートの取り方を工夫したほうがいいかなと思います。</p>
橋本会長	<p>なるほど。利用しなくなった人の意見も大事だということで、皆さん、う</p>

	なずいていらっしやいます。
岩重委員	私が時々聞く意見だと、親が、施設が汚い、古いという理由で行かせないとか、子どもが内緒でも遊びに来るとか、そういうこともあるので、何か利用しない理由というのが少しわかったほうがいいのかと思います。
橋本会長	中川さん、はい、どうぞ。
中川委員	中川です。私も岩重さんと同じで、やっぱり来なくなった理由というのが何なのかなというのを知ることは大事かなと思うんですね。なので、やはり学校側のほうは負担になるかと思うんですけど、学校のほうで配付していただきたいなと思います。家庭数で。
橋本会長	学校用語で、ずばりのご指摘いただいて、家庭数で。配付する学校としては、東小と東中と、ほかの小学校というのは何かありましたっけ。木下さん、どこでしたっけ、よく来る学校は。
事務局（木下）	9割ぐらいが東小。南とか一小とか、時々、夏期クラブの夏の行事とか、そういうときに来てくださっていると思いますけれど。
橋本会長	ありがとうございます。東小だけでもいいのかなと。遠いから来ないという理由は、それは委託とあまり関係ない話なので、それは確かにそうですね、本当に要る質問なのか。でも、これは来なくなった理由としては、これが選択肢にあることは必要かもしれませんね。なるべく家庭数で、東小、東中学校はとってもらえないか、という意見が大勢を占めつつあるのですが、あるいはこれはP T Aに頼むとか、そういうことはできますか。あるいは、あまり有効ではないですかね。
中川委員	学校ごとにP T Aの成り立ちも違うので、もし本町小であれば、それは可能だと思います。ですが、やっぱり学校毎でちょっと違うので、何とも……。
橋本会長	そうですか。何とも言えない……。
中川委員	岩重さんは東？
岩重委員	東です。
中川委員	東はどうでしょう。
岩重委員	多分できると思うんですけど、P T Aの今の役員の方がどれだけ乗る気になるかという、そっちだと思うんです。
橋本会長	これはやっぱり、かなり属人的な問題になってきますね。配るのがどの程度、手間に思われるか、あるいは前向きに捉えて、これを機会に地域づくりに巻き込もうとするかどうか。属人的な問題になってくるので、当事者の交渉判断に委ねるのが一番いいのかなという気がいたします。はい、どうぞ、松田先生。
松田委員	基本的に事務局が、これはもうターゲットは決まっているので、東小と東中の校長先生にお話いただいて、ご協力願うような形で実施されたらいかがでしょうか。校長のほうがあったという状態が得られれば、当然職員にも話をし、P T Aの協力もとれる、という形でできるんじゃないかと思います。私ども、代表で出てきていますので、校長会等で、今こういう話になっているということは全体にアナウンスをしながら、該当の学校の校長先生にもお話をし、個別に相談に来ると思いますが、決定という話ではなくて、こう

	<p>いう方向になっているので、よりよいまちづくりを含めて対応いただきたいということをお願いすることは、その方向で進めていただければいいんじゃないですか。ただ、さっき家庭数というのがありましたけど、聞いたら子どもたち1人1人に聞いていただいた方がいい。兄弟でも全然違う感覚を持っていると思うので。</p>
中川委員	<p>ちょっと手間を考えました。枚数が。</p>
松田委員	<p>やるんだったら、全部やったほうがいいじゃないですかね。</p>
山中委員	<p>子どもたちはその場で書くので、その場で100%回収できると思います。</p>
橋本会長	<p>その場で。</p>
山中委員	<p>持たせて帰ると回収率が下がってくるので、大体その時間、例えば5分とか10分の時間の中で書かせるのが大体多いですね。</p>
新井委員	<p>ホームルームか何かで。</p>
山中委員	<p>はい。ただ、保護者には強制でなくなるので、回収率はぐっと下がると思いますけど。</p>
橋本会長	<p>教室で書いてもらって、児童館って何じゃい、どこにあるんじゃいみたいな子どもさんにも書いてもらう、それはそれでいいとしますか。</p>
岩重委員	<p>東小は隣ですから知らないという子はいないと思うので。</p>
橋本会長	<p>確かにそうですね。隣にありますもんね。わかりました。 では、松田先生が今提案してくださったような形で、担当課と学校長さんの間のお話のお願いに委ねて、詳しくは追ってすると。松田先生から主なものを伝えていただいてもいいかなと思います。よろしく願いいたします。 では、そんなことで審議会としての総意はまとまったのかなと思います。ありがとうございます。アンケートについては、そういうことですが、そのほか、何かありましたら。</p>
大澤児童青少年担当部長	<p>すみません、会長、よろしいでしょうか。</p>
橋本会長	<p>はい、どうぞ。</p>
大澤児童青少年担当部長	<p>児童館運営検討委員会で委員長をやっています部長の大澤です。今いただいた意見を踏まえまして、また検討委員会で議論させていただきたいと思っています。今日の意見も踏まえて対応を調整させていただいて、それをまたご報告をさせていただく、ということでご理解をいただきたいと思っています。今日の意見は貴重な意見という形で賜りたいと思っています。</p>
松田委員	<p>校長会のほうでのアナウンスは、そちらのほうの日程もあって、またお話をいただいて、もし必要であればアナウンスするという形でよろしいですか。</p>
大澤児童青少年担当部長	<p>はい。なるべく早く議論はする予定でおります。校長会は多分月1回だと思いますが。</p>
松田委員	<p>月、定例、教育委員会主催するやつと、あと校長が集まってさまざま情報交換する会もありますので。</p>
大澤児童青少年担当部長	<p>その辺を踏まえまして早めにお知らせをさせていただきたいというふうに思います。</p>
橋本会長	<p>担当課のほうから先生方へご連絡がいつから、という形ですね。それま</p>

	では特に言わないということですか。はい、わかりました。じゃ、担当課からの連絡を待って、校長会のほうで、また根回しをしていただくということをお願いします。山中先生、何か。
山中委員	この中の質問の項目の文言のところ、例えば、職員についてというところなんかで、問6で、「怖い」とか、「雰囲気暗い」とか、「いい加減」とか、「雑」、「頼りない」とか、こういうのがアンケートにふさわしいのかどうか、ご検討ください。
橋本会長	ありがとうございます。今のご意見もそうですが、1回、本当は通して頭から検討もしたいし、この時間では無理ですよ。あともう一つ報告があって。今ここでやってしまうのは……。
大澤児童青少年担当部長	資料が当日というところで、大変申し訳ございません。内容等も一定期間設けさせていただきたいと思っておりますので、例えば、今週いっぱいぐらいに何か気づいた点があれば、事務局のほうまでご連絡をいただくという形で、対応させていただきたいと思っておりますけども、いかがでしょうか。
橋本会長	そうでしょうか。わかりました。
新井委員	ただ、私、さっきのグルーピングのところ、こたわっちゃうんですけども、グルーピングの中のやり方によって文言が変わってくるんじゃないかと思うんです。ざっと並べていったときの文言なのか、減らしたいときの文言なのかで、随分変わってくるんじゃないかと思うんですけど。
橋本会長	<p>それでは、きょうの審議会後、皆さんの意見を事務局へ言っていたということ。</p> <p>では、評価全体の話はまた来年2月か3月の審議会に皆さんにご意見を言っていた、ということよろしいでしょうか。心構えをお願いいたします。何か言っておかないといけないことというのがありましたら、お願いします。ありますか。</p> <p>それでは、次の議題に入ろうと思います。今、議題の②までやりましたので、3番目の報告事項で、本町児童館についてということで、事務局からご報告をいただこうと思います。</p>
事務局（伏見）	<p>現在、本町学童については、本町小学校の教室を一部お借りしているような状況でございます。こちらについて、学童保育全員入所の維持の方針や学童保育の安定的な運営のため、学校周辺の適地確保に向けた情報収集等を今年度行ってまいりましたが、なかなか適地がなく、一方で本町小学校のほうでは、平成30年度から特別支援教室の本格稼働を予定しており、現在の小学校内の本町学童保育所の分所については、平成29年7月の1学期までしか運営できないこととなりました。そのため、市の方針として、29年9月から当面の間、本町学童保育所の分所の運営場所として、本町児童館の2階、図書室と学習室を利用する方向で本町児童館の業務の見直しを行うこととし、児童館として児童館運営検討委員会での検討を開始いたしましたので、ご報告申し上げます。</p> <p>なお、児童館運営検討委員会としての検討を経た次年度の本町児童館の事業計画案については、次回の児童館運営審議会までにお示しし、ご意見を頂</p>

	戴したいと考えております。以上、ご報告させていただきます。よろしくお願いいたします。
橋本会長	ということで、来年9月からそうなるだろうという可能性が大きくなってきていまして、いかがでしょうか。まだ、あまり予算など、決まったことがないので、今日も深くは議論ができないと思っているんですが、何かご質問がありましたら。関さん。
関委員	本町児童館の図書室と学習室だと、大きな絵本とかがありますよね。あそこも含めて、2階全部が学童になるということですか。今までは図書室の一部利用だけですよ。それがプラス学習室も、ということですか。
橋本会長	今、学習室というのはどうなっていますか。本町児童館、大嶋さん。
事務局（大嶋）	2階の児童館の部屋は、図書室が本棚のあるほうで、真ん中が仕切りになっていて、南側の本棚がないほうが学習室です。図書室、学習室であわせて1つの図書室スペースとして使っていました。
橋本会長	そうですか。2部屋がつながっていたんですか、あそこの部屋は。
事務局（大嶋）	はい、つながってまして、真ん中で仕切って、赤ちゃんたちが来たときは、南側の学習室側で乳児が遊ぶスペースをつくっています。仕切ってよく使っていました。
橋本会長	わかりました。関さん、よろしいですか。
関委員	図書室と学習室というのが1つの部屋で、ちょっと廊下があって、こちらが学童でということで、2階全部が学童になるということですね。
橋本会長	そういうことになりますね。2階全部が学童保育所になるわけですね、臨時に。
中川委員	中川です。すみません。私はこの形をととても恐れていたのですが、今、既に本町児童館でも遊ぶスペースとして、子どもたちが集まると、すごい人数が増えてしまって、遊ぶスペースをとるのにも大変だったのに、さらに2階がなくなるということは、2階で遊んでいた子どもたちの居場所がなくなってしまうわけですよ。だから、2階で遊んでいる子たちの居場所をどうするのか。居心地がよくてそこに来ていた子たちは、その場所がなくなってしまうと居場所がない、居心地が悪い場所、1階にさらに人数が集中してくると思うんです。なので、そういう居場所を求めて来ていた子はどうすればいいんだろうなど、思ってしまうんですけれども、それに対して何か対処する方法とか、隣接する上之原会館の一部を貸していただくとか、何かそういう手段で考えていらっしゃるのでしょうか。
橋本会長	今のご意見に関連することで何かありますか。関さん、どうぞ。
関委員	図書室と学習室というのは、児童館として使われていたんですか、今まで。放課後の時間帯なんですけれども。
橋本会長	放課後の時間帯は使っていたでしょう。もちろん子どもも来ますし、本もありますし。対応というのはありますか。子どもの居場所。大澤部長、お願いします。
大澤児童青少	子どもの居場所の確保というのは大きな問題だというのは、十分認識して

年担当部長	<p>ございます。当然、これはこれから周知をしていく中で、こういう問題はど うなるのかという形で声は出てくるのは十分認識しているところではありま す。</p> <p>今、具体的になかなか申し上げにくい部分もございますが、例えば学校の 校庭開放だったり、あとは、例えば近くに図書館貫井北分室というのも新し くできている部分がございますので、こちらのほうでできる部分に関しては 措置をしていきたい。あくまでも今回は暫定というところでありますので、 その辺、さまざまな方にご理解を得ていただきながら、我々としては、引き 続き学童の適地の確保に努めてまいりたい。今の段階でどこも、何もないと いう形にはならない、要はタイムリミットのなものですので、当然そういつ た点も踏まえた中での決断でもあるということと、ここに関しては大きな 問題であるということは十分に認識しているということだけ、この場でお 答えをさせていただきたいと思います。</p>
橋本会長	<p>よろしいですか。ちなみに、暫定、当面の間というのは、どうなったら解 除されるんでしょう。</p>
大澤児童青少年担当部長	<p>基本的には、明確に新たな場所に、計画的に、必ずつくるという計画は、 まだ現時点ではないところです。が、本町に限らず、どこの学童保育もかな り手狭になっている、利用者が多いという現状は同じです。ただ、仮に、例 えば市のほうで物件を借りるとか買うとかという形になったとしても、行政 の場合、設計をして工事をするのに2、3年という期間がかかってしまいま す。今、条件的に合うような物件があれば、という形になりますが、民間の 土地活用、建物活用というところも当然視野に入れていきますので、そういつ た条件が整うまでの間、というところを、今、市の方針として持っている というところで、いつまでにつくらなければというところに関しては、小金井 市のさまざまな問題もある中で、最終的には総合的に判断をさせていただい て、という形になろうかというふうに答弁をさせていただきます。</p>
橋本会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、内容を見守るしか今日はできないかなと思いますので、また次 の審議会のときにご報告をいただこうと思います。ありがとうございます。</p> <p>そのほかとしましては、以前、事務局からもご案内ありましたように、今 月の27日に小金井市児童館50周年記念事業として「じどうかんフェステ ィバル2016年」というのが宮地楽器ホールで開催されます。私、申しわ けありませんが、公務の都合で出られなくて、申しわけありませんが、可能 な方はご参加いただければと思います。次の児童館運営審議会は、大体の予 定は決まっていますか。</p>
事務局（田中）	<p>2月か3月の開催となる予定です。</p>
大澤児童青少年担当部長	<p>会長、ひとつだけ、今お話をさせていただきました本町児童館の取り組み でございます。現状としましては、一般の市民の方にお話させてもらうのは、 今日が初めてでございます。まだ利用者にもお話をしている状況ではない案 件でございます。今後、さまざまな調整をさせていただき、12月に市議会 定例会がございまして、そちらで基本的にお話をさせていただき、また、</p>

	<p>学童を利用している方等にその時期にお知らせをするというような考え方でございますので、すみませんが、この情報の取り扱いにつきましては、十分取り扱いには慎重を期していただきたいというふうをお願いをこの場でさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p>
橋本会長	<p>はい、わかりました。では、本日予定されたことは、ほぼこれで消化できたかなと思っておりますので、これで終了します。事務局、ありますか。それでは、皆様、どうも本日もありがとうございました。事務局の皆さん、どうもありがとうございました。傍聴の方もどうもありがとうございました。</p>